

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(富塚小) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- ・各担当機関、団体がそれぞれの役割をさらに発信していく。また地域においても協議会の活動がより活発になるよう発信していく。
- ・協議した内容（登下校時の見守り活動）の実施、結果までたどることが少なかったので、「これができた」という明確なものがいくつもできるようにする。（特に現場の先生方と）

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・学校運営の基本方針「ともに輝く富塚の子の育成」についてのわかりやすい説明があり、理解することができた。熟議し、様々な意見の交換ができた。
- ・基本方針について詳細な説明を受け富塚小コミュニティ・スクールや富塚キャリア教育等による、考え行動する育成について熟議ができた。
- ・基本方針について詳細な説明を受け富塚小コミュニティ・スクールや富塚キャリア教育等による、考え行動する子の育成について熟議ができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・グループ討議をすることで委員から活発な意見が出て熟議が充実したものになった。特に保護者や地域住民がどのようにかかわるべきか提案や意見交換ができた。
- ・いじめ防止対策について学校側より説明を受け、未然防止、早期発見の取り組みに対して、生徒指導、校内いじめ対策委員会の開催、各種アンケートの実施が行われており、相互の理解を得ることができている。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・熟議結果について十分な情報発信には至っていないと思う。
- ・自治会理事会、地域への回覧等での報告はあるが、問題や課題解決には至っていない。
- ・学期ごとにコミスクだよりを作成しているが、十分とは思えない。
- ・地域団体の特色を生かし連合連絡会等での協力者への発信を行った。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・協議会で情報発信について熟議した方がよいと思う。学校との協力体制がしっかりできているのを維持していきたい。
- ・今年度以上に学校や地域、家庭等が役割分担をしながら地域ネットワークを進め、学校への支援活動を継続推進する。
- ・熟議の取り組み方についてはよかったが、それを保護者や地域住民にもっと発信して共有することが必要だと感じた。来年度はそれを率先してやることが目標といえる。